

平成 23 年度国立大学図書館協会海外派遣事業参加報告書

大阪大学附属図書館吹田地区図書館サービス課生命科学図書館班
和田 省子

このたび、平成 23 年度国立大学図書館協会海外派遣事業により、韓国の大学図書館を訪問し調査研究を行ったので以下のとおり報告する。なお、本調査研究は、琉球大学附属図書館 大谷周平氏と共同で行った。

1.訪問期間

平成 23 年 9 月 25 日(日)～10 月 1 日(土)

2.訪問先 / 担当者

- (1)Yonsei University Library / Mr.Yong-sok, Heo
- (2)Seoul Natinonal University Library / Ms. Ji-won Ahn
- (3)Korea University Library / Mr. Jong-Geon, Guk
- (4)Myongji University Library / Ms. Jeong-Won, Kang
- (5)Sungkyunkwan University / Mr. Ho-seong, Yang

3.調査研究内容

サブジェクトライブラリアンサービスを導入している大学図書館や近年改築や新築した大学図書館を調査対象として訪問した。各大学図書館では、司書の人事制度、サブジェクトライブラリアン、図書館システム担当者などへのインタビューと設備見学を行った。

4.調査研究成果

訪問した大学図書館では、個別の学習スペースやグループ学習室に広いスペースを割き、さらに座席管理システムで空席状況の確認や予約が可能となっており、快適な学習スペースを提供するため充実した設備を備えていた。また、電子新聞や電子書籍の閲覧端末、さまざまな言語の OS が利用可能な PC や映像編集設備など、ICT 環境も融合した学習環境であった。

人的支援の面では、訪問した 5 大学のうち 4 大学でサブジェクトライブラリアンサービスを導入していた。大学ごとに導入方法や提供しているサービス内容は異なるものの、より高品質な図書館サービス実現のために、サブジェクトライブラリアンを重要視しているという点では共通していた。これは未導入の大学においても同様であった。

韓国のライブラリアンへのインタビューの中で日韓の大学図書館で人材育成や予算面など、多くの課題が共通していることを実感した。その課題に対する回答の一つが、学習空間としての機能強化やサブジェクトライブラリアンサービスであることがわかり、有意義な調査であった。